

全国学力・学習状況調査を踏まえて



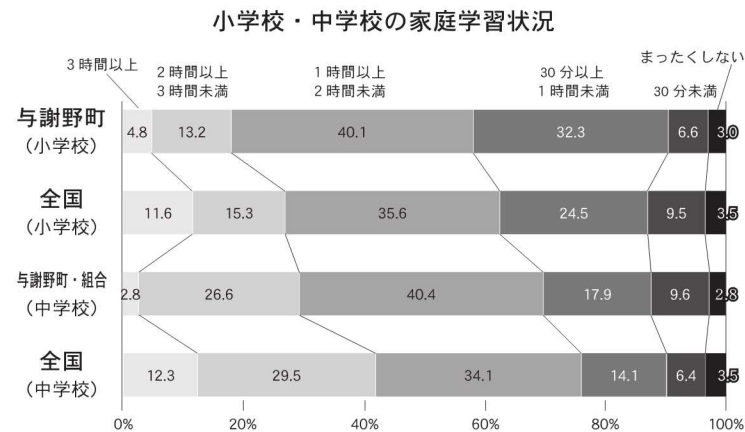
第1回三中学校合同生徒会活動の様子

質問紙調査結果より

この調査は、子どもたちの家庭学習の様子をはじめ、日常生活の様子や学習意欲等の状況と学力調査結果との関連を明らかにして、今後の学習指導等に生かすことを目的としています。ここでは2つの項目に注目しました。

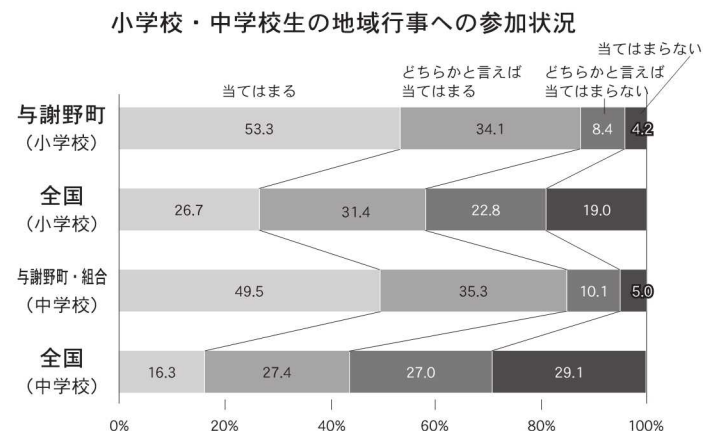
① 家庭学習の時間

与謝野町の小学6年生の約半数が



② 地域行事への参加

小中学生ともに全国平均を大きく上回る結果となっています。保護者の方々が地域とのつながりを大切に



**全国学力・学習状況調査**  
平成19年度から始まり、小学6年生と中学3年生を対象にした調査。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを主な目的として実施されています。

令和3年5月に、町内の小学6年生と中学3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。調査結果は、「令和3年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」をもとに、教育委員会から広くお知らせすることで、学校と家庭・地域との連携が深まり、子どもたちのさらなる学力向上が図れるものと考えています。  
各小中学校では、自校の課題を整理し学力の充実や向上に取り組み、基盤となる学級づくりや、子どもたち一人ひとりの課題に応じた指導や支援が行えるよう、授業改善や学習

環境の工夫・整備に取り組んでいきます。教育委員会でも調査結果を踏まえ、学級や学校生活の安定を図る取り組みをはじめ、効果のある教育活動や指導向上を目指した研修に layered 努力、子どもたちの学力向上に向けた努力をしていきます。

学力調査結果より

【小学校】

国語・算数ともに全国平均正答率をわずかに下回る結果となりました。国語の「書くこと」「読むこと」は、全国平均正答率を上回る結果となりましたが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」は、全国平均正答率をやや下回りました。算数は、「数と計算」「図形」「測定」の分野に課題が見られました。

【中学校】

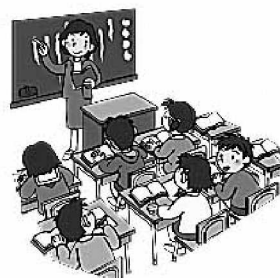
国語・数学ともに全国平均正答率を上回る結果となりました。国語の「書くこと」「言語についての知識・理解・技能」は、全国平均正答率を上回る結果となりましたが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、全国平均正答率をやや下回りました。数学は、「数と式」「図形」の分野が全国平均正答率を上回りました

令和3年度全国学力・学習状況調査結果

小学校 (6校)	国語		算数	
	与謝野町	全国	与謝野町・組合	全国
	64	64.7	66	64.6
中学校 (3校)			58	57.2

【与謝野町・組合】加悦中学校、江陽中学校、与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校の3校

が、「関数」「資料の活用」は、やや下回る結果となりました。  
今後これらの実態分析をもとに課題を明らかにしながら授業改善を進め、各学年での基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、就学前教育とも連携し、義務教育9年間を見通した指導を充実させることが重要です。



2 学力を支える学級づくり

学級集団の状況を的確に把握するための「学級満足度調査」を実施しています。教員の日常的な関わりや面談等に加え、科学的な根拠となる調査結果の分析に基づいて学力を支える良好な学級づくりと、教員一人ひとりの学級経営力の向上に努めています。

3 小学校・中学校連携の充実

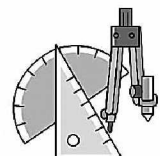
3中学校区での小中連携を重点的に推進し、子どもたちの学力状況や指導方法の共有だけでなく、小中教員の合同研究会等を行い、学びの連続性を重視した授業改善に取り組んでいます。

4 与謝野町・組合ならではの教育の推進

豊かな自然と歴史に育まれたふるさとの特色を生かした与謝野町・組合ならではの教育を進めています。小中学校で行っている「俳句に親しむ学習」もその一つです。教科等でふるさとの自然、歴史や伝統・文化に触れ学び、私たちの住んでいる町に誇りを持てる子どもを育てていきます。

まとめ

与謝野町・組合では、学力調査結果等を踏まえて次の4つの事項を中心に、学力の向上を目指した取り組みを進めています。



1 子どもたちの「分かる・できる」を目指した授業改善

各学校では、「全国学力・学習状況調査」等の分析を踏まえ自校の課題や改善点を明らかにし、公開授業研究会等を通して、一人ひとりの課題等に応じた学習指導ができるよう、子どもたちの「分かる・できる」授業づくりに努めています。